



KIN-BALL® sport

■2015 年度改正公式ルール■

★試合形式 変更

- キンボールスポーツは 1 ピリオド 13 点制で、2 ピリオド以上で構成される。
- 大会によっては主催者が試合形式を変えても構わない。
 1. ワールドカップとヨーロッパ選手権大会（公式国際大会の成人の部）については、国際キンボールスポーツ連盟が試合形式を決める。
 2. ワールドカップとヨーロッパ選手権大会（公式国際大会の成人以外の部）については、主催国の連盟と国際キンボールスポーツ連盟が試合形式を決める。
 3. ワールドカップとヨーロッパ選手権大会以外の国際大会については、主催団体が試合形式を決める。
 4. その他の大会については、その国の連盟もしくは主催団体が試合形式を決める。

※2015 年現在、「総得点または総勝点による勝敗決定」、「ピリオド先取による勝敗決定」がある。その両方において、従来の『時間制』に加え、新たに公式ルールとなった『得点制』を組み合わせることができる。

★「ピリオド先取による勝敗決定」『得点制』時（公式ルール）の試合の流れと勝敗 変更

- 各ピリオドはいずれかのチームが 13 点に達したときに終了する。
- チームが試合に勝つためには、先に決められた数のピリオドを獲得しなければならない。公式国際大会の成人の部においては 3 つのピリオドを先取したチームの勝ち。
- 反則があり、いずれかのチームが 11 点になった時に、最も低い得点のチームがコートから退場し、残り 2 チームが得点を保持したままそのピリオドを続ける。
- 2 チームの内得点の低いほうのチームがコートの中央でボールを保持する。両チームともに 11 点だった場合は、ヘッドフリーがサイコロを振り、ヒットチームを決める。
- 最初に 13 点に到達したチームがそのピリオドの勝者。

※その他

- 各ピリオドの初めは、スコアボードの得点は 0 に戻す。
- 1 つのチームが 3 つのピリオドを獲得した時、2 位のチームはピリオドの獲得数が 2 番目に多いチームである。
- 両チームが同数ならば、2 位決定のための 5 ポイント先取の延長戦をする。

★不当な攻撃によるコールミス 変更

- 最も高い得点のチームだけを攻撃することができる。
- コールするチームが最も高い点数のチームの場合、2 番目に点数の高いチームをコールしなければならない。
- コールするチームが最も高い点数のチームで、もう 1 チーム同点のチームがあればそのチームをコールしなければならない。

★2 回目以降の警告 変更

- 2 回目～4 回目の警告が同じチームに与えられたら、警告を受けていないチームには 5 点が与えられていたが、1 回目と同様に 1 点が与えられる。4 回目の警告を受けたチームは退場となり、試合は残りの 2 チームで続けられる。

★警告後のヒット・インチーム 変更

- チームやプレーヤーが受ける警告は、ボールを保持するチームが変わる反則とは見なされない。従って警告がある前にボールをコントロールしていたチームがそのままボールを保持することになる。再開のヒットインはボールを保持していた場所からとなる。

★イリーガルオフense 一部変更

- ・攻撃側のプレーヤーがボールに触れたままのヒット（通称：プッシュヒット）を行い、その最初の軌道が下向きだった場合。

★タイムアウト 一部変更

- ・各チームは1ピリオドにつき1回、40秒のタイムアウトがとれる。

★イリーガルトラベリング 訳変更

- ・試合やピリオドの開始時以外のヒットインの際、ヒットチームはレフリーがボールを置いた場所からボールの直径の2倍分の距離、半径2.4mの範囲内であればボールを動かすことができる。この動きはヒットインのホイッスルの前でも後でも行うことができる。半径2.4mの範囲内を超えるとイリーガルトラベリングの反則。

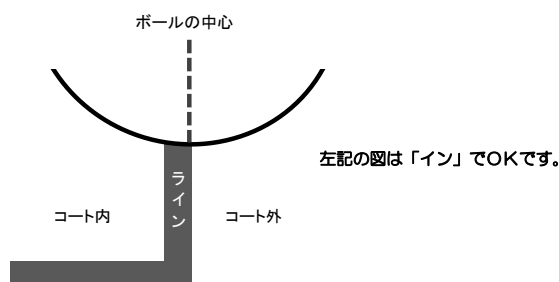
※正式にはルールの変更ではなく、フィート計算とメートル計算の設定による詳細の統一によるもの。

★予選の順位決定方法 一部変更

- ・予選終了後に2チームもしくはそれ以上のチームが同じ総勝ち点だった場合、順位は次の基準で決定する。
 1. 試合で1位になった回数。それも同じであれば
 2. 試合で2位になった回数。それも同じであれば
 3. スポーツマンシップポイント数。それも同じであれば
 4. 同点同士のチームで戦った試合での総勝ち点。それも同じであれば
 5. 1位になったピリオド数。それも同じであれば
 6. 同点同士のチームで戦った試合での勝ったピリオド数。それも同じであれば
 7. 予選において2位になったピリオド数。それも同じであれば
 8. そのチームが2位になったピリオドで1位だったチームとの得点差の合計。それも同じであれば
 9. ワールドカップの場合：国際キンボールスポーツ連盟、他の大会の場合：主催者が5ポイント先取または1試合を行うことが適切か否かを定める。

※アウトサイド詳細 確認

- ・コート境界線としてラインテープを使用する場合、ラインの外側が基準点。基準点より内側はイン、外側はアウト。ボールのイン、アウトに関しても同様。設置点は厳密には1つの接点であるが、基準点より内にボールの半分以上が入っていればイン。



最新ルールの詳細確認を希望する人は、ルールブック 2015 年度版（1部 ¥1,080 税込+送料別途要）をご購入ください。また、2015 年度に全国で開催を予定している日本キンボールスポーツ連盟主催の「指導者講習会」を受講してください。講習日程は随時ホームページ（インフォメーション欄）にアップいたしますのでご確認願います。

一般社団法人日本キンボールスポーツ連盟 本部事務局
TEL.06-6971-9190 FAX.06-6981-7470
e-mail: kin-ball@newsports-21.com <http://www.newsports-21.com/kin-ball>